

# 平成28年度 上富良野町の全国体力・運動能力等調査結果について

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、国公立私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の結果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 全国公立私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善等に役立てる。

### 2 調査対象学年

町内小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒

### 3 調査事項

#### (1) 実技に関する調査

小学校	中学校
握力、上体起こし、長座体前屈、 反復横とび、20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、 ソフトボール投げ	握力、上体起こし、長座体前屈、 反復横とび、20mシャトルラン、 50m走、立ち幅跳び、 ハンドボール投げ

#### (2) 質問紙調査 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 4 調査実施日 平成28年4月から7月末まで

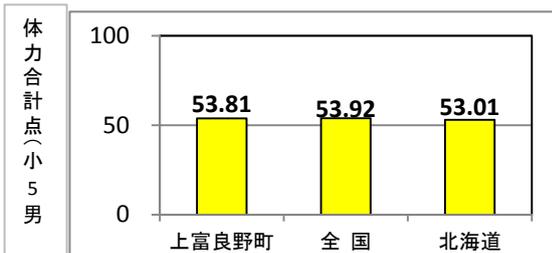
### 5 調査を実施した全体の状況

	参加学校数	参加率
小学校調査	20, 272校	98.8%
中学校調査	10, 593校	97.3%
上富良野町	4校(小3校、中1校)	100%

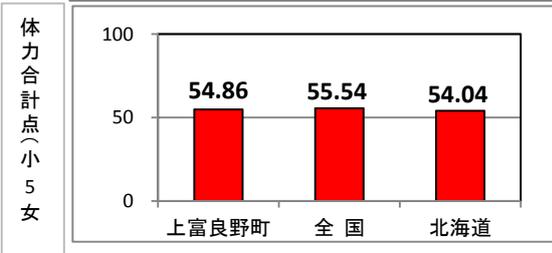
## II 調査の結果

### 1 実技に関する調査

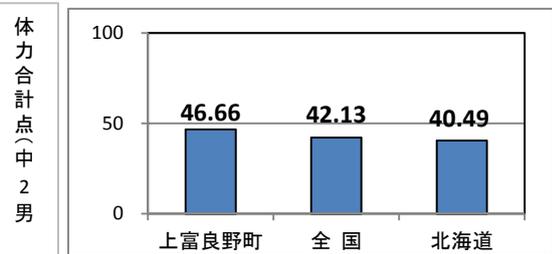
(全国より+2ポイント以上は、大きく上回った)



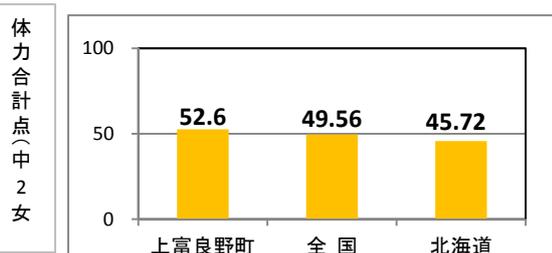
小学5年男子は、体力合計点でほぼ全国平均と同様であり、全道平均を上回っている。8種目中3種目で全国平均を上回った。総合評価Aの児童が14.3%で、全国の11.7%を大きく上回っている



小学5年女子は、体力合計点で全国平均を若干下回ったが、全道平均を上回っている。8種目中3種目で全国平均を上回った。総合評価ABの児童が45.9%で、全国の42.6%を大きく上回っている



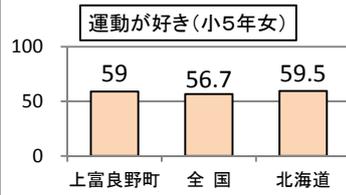
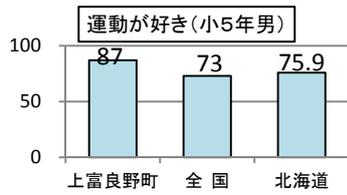
中学2年男子は、体力合計点で全国・全道平均を大きく上回っている。全8種目とも全国平均を上回った。特に、握力・長座体前屈・ハンドボール投げが高かった。総合評価Aの生徒が16.0%で、全国の7.8%を2倍以上上回って



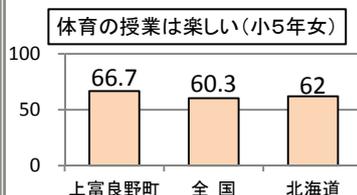
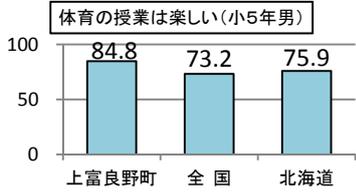
中学2年女子は、体力合計点で全国・全道平均を大きく上回っている。全8種目中、握力・長座体前屈・ハンドボール投げが全国平均を大きく上回った。総合評価ABの生徒が78.0%で、全国

## 2 質問紙調査

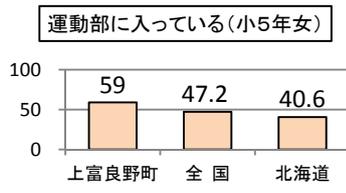
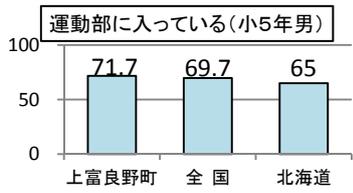
### (1) 小学校



○ 男子は、運動が好きで、大切と考えている。中学校でも運動を続けたいと考えている児童が90%いる。  
女子は、運動が好きは男子に比較すると少ないが、やや好きを含めると92%で、全国より高い。

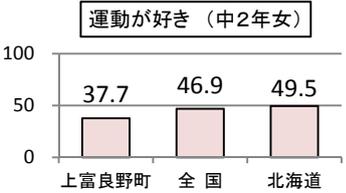
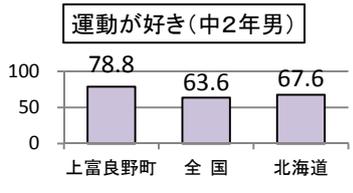


○ 体育の授業が楽しい男子が多い。授業では、目標をもち、友達と助け合ったり役割をはたしている。  
女子は、楽しいは少ないがやや楽しいを含めると97%で全国より

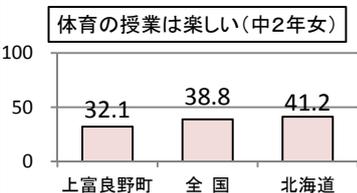
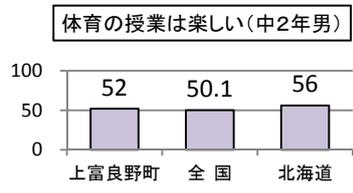


○ 男子は、少年団などに所属している児童が大変多い。入っている児童のうち74%は自分から進んで入っている。  
女子は、少年団などに所属している児童が、全国・全道平均大きく上

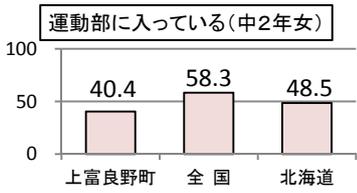
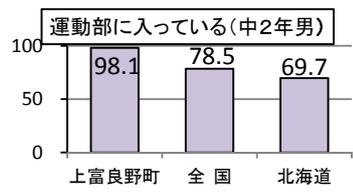
### (2) 中学校



○男子は、運動が好きで、大切と考えている。  
女子は、運動が好きは男子に比較すると少ないが、やや好きを含めると92%で、全国より高



○ 男子・女子ともに、全国・全道より大きく上回っている。  
そして、武道やダンスにも興味を持ち、楽しく取り組んでいる。



○ 男子は、ほとんどの生徒が加入しているが、女子は、運動部より文化部への加入が多い状況である。運動部等に所属していない生徒は、男女とも少ない。

### 3 今年度の全体傾向等について

◎ 本町の児童生徒は、全国体力・運動能力調査結果から体力合計点で小学男子・中学男女で全国平均より大きく上回り、小学女子でも全国を上回っている。また、質問紙からは「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答する割合が、男女ともに全国平均を大きく上回っている。

小学校は、休み時間・放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組を行っている。また、各少年団が計画的に活動していることも体力の向上につながっている。

中学校は、目標をもたせた授業づくりや運動部の活動内容の充実しており、文化部でも体力づくりを行うなど日ごろから体力の向上に努めている。

小学校・中学校ともに、基本的な生活習慣や正しい食生活の確立に向けた取組を学校と家庭と連携し推進している。